

Contents

■特集①

県民運動としての地産地消を目指して

■特集② スポレクとやま2010

- 県政Q&A
- 県政の動き
- 県内おでかけ情報
- 健康レシピ「さつまいもと豆腐の白玉」
- 県広報のお知らせ
- 県政クイズ

富山の「Jリーグ」、  
野嶋さん。  
仲間とともに、  
日本一を目指す。



現在、プロサッカーのJ2リーグで熱戦を繰り広げている「カタレ富山」。このチームで唯一の富山県出身選手として活躍しているのが、野嶋良さん（黒部市）。小学生の時、サッカーの魅力にとりつかれ、サッカーに没頭する日々を過ごしました。折しも1993年にプロサッカーリーグ（Jリーグ）が発足。当時14歳の野嶋さんは、その華麗なプレーを目の当たりにし、プロを志すようになったのです。

中学校を卒業後、富山を離れ、サッカーの強豪である県外の高校、大学へと進学。夢を追いかけて、サッカーに明け暮れる毎日を送りました。やがて、



今季、ミッドフィルダーとして多くのフル出場を果たす野嶋さん。

大学卒業後の進路を決定する時期を迎えた野嶋さんは、思い悩んだ末、プロの夢を抱きつつも、富山の企業チームに入ることを決意。「豊かな自然が心を癒してくれる、そんな富山が好きなんです」と野嶋さん。強い愛郷心が進路の選択の決め手となったのです。

その後も、サッカーへの強い思いが野嶋さんを駆り立ててきました。2007年に県内の2つの企業チームが母体となった県民チーム「カタレ富山」が誕生。快進撃を続け、設立からわずか1年でJリーグ入りを果たしました。このとき、野嶋さんは29歳。プロになるという夢を実現したのです。

技術・体力・精神面をさらに強化して望んだプロ初の今シーズンにおいて、勝利を目指すチームの一員として活躍する野嶋さん。「現在の夢は仲間とともに日本一になること。そして、いずれは経験を活かし、富山の子どもたちを指導して良い選手を育てたい」。サッカーとふるさと富山をこよなく愛する野嶋さんの挑戦は、これからも続きます。



県政に関する  
ご質問に  
知事が  
答えます!!  
県政Q&A

Q. 富山県のスポーツ選手が全国や世界で活躍する姿は、県民に勇気と感動を、子どもたちに夢と希望を与えてくれますが、若い世代の選手を育てるために、県ではどのような取組みを行っていますか。

A. 県では、県民の皆さん一人ひとりが目的や好みに応じてスポーツに親しむことができる環境づくりや、全国・世界の檜舞台で活躍できる選手の育成など、スポーツの振興に積極的に取り組んでいます。若い世代の選手の競技力向上については、運動能力に優れたジュニア選手の発掘・育成や、競技別での中・高校生選手の育成・強化などに積極的に取り組み、一定の成果をあげてきました。今年2月には、「競技力向上対策あり方検討会」から、

- ① 県総合体育センター等を有効活用していく「強化拠点の確立」
  - ② トップアスリートを育成・強化していく「強化施策の再構築」
  - ③ 県民総ぐるみでスポーツを応援する「気運を高めていく」応援体制の整備」
- を三本柱とする、強化策の見直しの基本方針が示されました。
- これを踏まえ、県では、5月に北京オリンピック日本選手団長の福田富昭氏（日本オリンピック委員会副会長・富山県出身）に、県スポーツアドバイザーに就任いただくとともに、7月にはトップアスリートの育成・強化に向けたプロジェクト会議を設置しました。今後、この会議において、福田アドバイザーの助言をいただきながら、若い世代の選手の具体的な強化策を検討し、未来のトップアスリートを育成していきたいと考えています。



# 特集 1

## 県民運動としての地産地消を目指して

近年、食の安全・安心の確保や環境負荷軽減などにつながる「地産地消」への期待が高まっています。このため、県では、地産地消が県民総ぐるみの幅広い運動として、その活動の輪が広がるよう、各種の取組みを進めていきます。

### 地産地消のさらなる推進を

近年、地元でとれた食べ物を地元で消費する「地産地消」への期待が高まっています。現在、本県でも、地元でとれた農産物を直売所で直接販売したり、加工品に活用したりする取組みが広がっています。こうした中、県では、地産地消の活動がさらに広がるよう、今年度から新しい取組みを行っています。

### 平成21年度の新たな取組み

#### 1 「とやま地産地消県民会議」を設置しました

県民総ぐるみでの地産地消を推進するため、今年6月、新たに「とやま地産地消県民会議」を設置しました。

#### 2 地産地消「とやまの旬」応援団を募集しています

この県民会議では、県産品の生産・供給体制の強化や、県民の皆さんが県産品を買いおろすという気運を高めるための具体的な方策について検討を進めています。

地産地消に積極的に取り組む企業・団体、個人を「地産地消「とやまの旬」応援団」として募集しています。登録された方には、その活動を支援するために、地産地消に関するイベント情報や団員証、のぼり旗などを提供します。また、ホームページなどを通じて、その取組みを広く県民の皆さんに紹介していきます。

#### 3 11月を「とやま地産地消推進月間」に

県産の農林水産物が年間を通じて最も多く出荷される11月を、新たに「とやま地産地消推進月間」としました。この月間中は、地産地消に関する取組みを集中的・重点的に実施します。



### Interview

#### 新鮮で安全・安心な地元産の野菜を食卓に

とやま食の匠  
(特産の匠・富山しろねぎ)  
おもだか  
澤瀉 勉さん  
(富山市)



県民の皆さんに、新鮮で安全・安心な旬の野菜をお届けするため、農業や化学肥料を控えた野菜作りに努めています。特に八ヶ山地域では、生産者全員が、県内でもいち早く、トマト、しろねぎ、きゅうり、ほうれんそうのエコファーマー(※)の認定を受け、環境にやさしい農業に取り組んでいます。県民総ぐるみで県産品を支え、育てる地産地消が進めば、消費者の皆さんが元気になるばかりでなく、私たち生産者ももっと元気に農業に取り組むことができます。ぜひ、県産野菜を皆さんで応援してください。

(※)エコファーマー：減農薬、減化学肥料で農産物を生産する農業者

### 地産地消でとやまを元気に!

今後、地産地消が進むことで、県内の農林水産業はもちろん、食品分野などの関連産業の振興、さらには環境保全や地域の活性化にもつながっていきます。県では、地産地消が県民運動として展開されるよう、積極的な取組みを進めていきます。

### 越中とやま食の王国フェスタ 2009(秋の陣)

10月31日(土)、11月1日(日) 両日とも10時~16時

富山産業展示館(テクノホール)

とやまの旬の食材や料理が勢ぞろいする食の一大イベント。本県の新鮮で多彩な食材と独自の食文化の魅力が実感できます。また、地産地消の取組みなども紹介します。



昨年の会場の様子

### シンボルマーク・キャッチフレーズを決定!

富山らしさを盛り込んだ地産地消のシンボルマークとキャッチフレーズを決定しました。今後、地産地消の推進をPRする取組みの中で活用していきます。



#### ●コンセプト

##### 【シンボルマーク】

子どもが元気よく富山の食材をほおぼる様子を、親しみやすく、温かいイラストで表現しています。大きな口は富山県の形をモチーフとして、中には富山を代表するブリ、米、白ねぎ、豚肉を配置しています。

##### 【キャッチフレーズ】

親しみのある富山の方言と、軽快な響きから印象に残るフレーズとなっています。また、富山には新鮮でおいしい食材があふれており、これらを県民全員で支え、育てようという願いを表現しています。









県内おでかけ情報

県立近代美術館

「I BELIEVE 日本の現代美術」

10月10日(土)～11月29日(日)  
料金 ●一般900円(700円)、  
大学生650円(500円)、小中高生無料

国内外で活躍する日本の美術家7人(大竹伸朗、折元立身、河井美咲、関根直子、高嶺格、村瀬恭子、山川冬樹)の世界を紹介し、それぞれの「信じる(I BELIEVE)」ことを探ります。



折元立身  
アートママ(小さな母と大きな靴) 1997年

富山市西中野町1-16-12 TEL 076-421-7111  
開館 ●9:30～17:00(入館は16:30まで) / 休館 ●月曜(祝日は開館)、  
祝日の翌日 / 交通 ●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス  
(城南ルート)で約10分(無料) 富山駅から地鉄バスで「西中野  
口」下車、徒歩2分 ※料金の( )内は20名以上の団体料金  
http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm

県水墨美術館

「日本の美 国宝との出会い  
—京都国立博物館所蔵品展—」

前期/開催中～10月25日(日)・後期/10月27日(火)～11月8日(日)  
料金 ●一般1000円(800円)、大学生700円(500円)、小中高生無料

開館10周年記念として、  
京都国立博物館の所蔵  
品から、平安～江戸時代  
に至る国宝・重要文化財  
を含む絵画35件を展示し、  
日本の美の心髄とその本  
質の一端を紹介します。



国宝 天橋立図 雪舟等楊筆

富山市五福777 TEL 076-431-3719  
開館 ●9:30～17:00(入室は16:30まで) / 休館 ●月曜(祝日は開館)、  
祝日の翌日 / 交通 ●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス  
(呉羽山ルート)で約6分(無料) 市内電車大学前行「新富山」  
下車、徒歩約10分 ※料金の( )内は20名以上の団体料金  
http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm

県中央植物園

「観葉植物展II ～リビングを彩る植物～」

開催中～11月18日(水)  
サトイモ科やパイナップル科、ペゴニアを  
中心とした室内観葉植物をご紹介します。



第17回 TOYAMA植物フォーラム「植物と癒し」

10月25日(日) 13:00～16:00(当日受付)  
植物のもつ癒し効果について、パネリ  
スト3名が講演、意見交換等を行います。 テーブルを飾る観葉植物

「日曜植物案内」(毎月第1・2日曜) 13:30～14:30(当日受付)  
見頃の植物や話題の植物について解説します。

「植物園オリエンテーリング」10月18日(日) 10:00～(当日受付)  
植物に関するクイズを解きながら、園内を楽しめめぐります。

富山市婦中町上畷田42 TEL 076-466-4187  
開園 ●9:00～17:00(入園は16:30まで) / 休園 ●木曜 / 入園料 ●  
一般・大学生600円(480円)、小中高生無料 ※( )内は20名以上  
の団体料金 / 交通 ●富山駅から地鉄バスで「中央植物園口」下車、  
徒歩10分 http://www.bgtyam.org/

とやま発 健康レシピ

【協力】高岡市食生活改善推進協議会

さつまいもと豆腐の白玉



1人分  
約118  
kcal

高岡市太田地区のさつまいもは、赤土  
のもとで育ち、鮮やかな黄色で甘みがあり  
ます。このさつまいもを使った誰にでも  
喜ばれるヘルシーなおやつを紹介します。  
さつまいも本来の甘みと、豆腐を加え  
ることでやわらかな食感を楽しめます。  
親子で一緒に生地をこねながら作れば、  
食育にも役立ちます。

【材料・分量(4人分)】

白玉粉…60g、絹ごし豆腐…60g、  
さつまいも…120g  
【黒蜜】黒砂糖…16g、水…20cc

【作り方】

- ① さつまいもは皮をむいて乱切りにし、水につけてアク抜きをした後、やわらかくなるまで茹でて、マッシャーでつぶす。
- ② 白玉粉、さつまいも、豆腐をボールに入れて、よくこねる(豆腐で固さを調節)。耳たぶくらいの固さになったら、食べやすい大きさに丸める。
- ③ 黒砂糖と水を鍋に入れて、とろりとするまでよく煮詰め、【黒蜜】を作る。
- ④ 沸騰したお湯の中に②を入れて茹でる。浮き上がってきたら、冷水を入れたボールにとる。
- ⑤ 器に④を盛り、【黒蜜】をかける。

- 生地がやわらかくなりすぎないよう、豆腐は様子を見ながら入れていく。
- カボチャや人参、ほうれん草など色々な季節の野菜を入れてもOK。



必聴 必見

県広報のお知らせ



富山県ホームページ  
http://www.pref.toyama.jp/

白 こんにちわ富山県です  
北日本放送テレビ

●毎週土曜 9:30～9:45  
10/10 ●環境との調和を目指す県立大学  
10/17 ●ふるさと文学  
10/24 ●富山の旬いただきます  
10/31 ●とやまと世界をつなぐ

元気とやま情報スクエア  
FMとやま

●毎週月～金曜(最終金曜除く)  
10:50～10:55、◎17:30～17:35  
●毎月最終金曜  
10:50～11:00、◎17:30～17:40  
※最終金曜は「知事の県政さっばらんと」  
として、知事が最新の話題について語ります。

白 元気とやま情報チャンネル  
富山テレビ

●毎週日曜 9:00～9:25  
10/4 ●広げよう!ピンクリボンの輪  
10/11 ●エコドライブのすすめ  
10/18 ●「スポレクとやま2010」開催1年前!  
10/25 ●とやまのお城

県からのお知らせ  
コミュニティFM各局

◎富山シティエフエム◎ラジオたかおか  
◎ラジオ・ミュー◎エフエムとなみ  
●毎週月曜、毎週金曜夕方  
各2分半

白 とやまメモリアル  
チューリップテレビ

●毎週火曜 21:55～21:58  
県が取り組んでいる事業やイベントの  
内容などをわかりやすくタイムリー  
にお知らせします。

新聞広報「県からのお知らせ」

●10月10日、17日の  
各土曜の朝刊各紙に掲載予定  
10日は、一部の朝刊には掲載しません。  
その他、月刊タウン情報とやま、  
フリーペーパー「102」、「minto」、  
「ふみたん」に、県広報をそれぞれ  
年6回掲載



○の中に言葉を入れてください。(ヒントは2ページにあります。)

県では、地元でとれた食べ物を地元で消費する  
「○○○○」の推進に取り組んでいます。

正解者の中から「県産新米コシヒカリ5kg」を5名の方に、「スポレクとやま2010  
大会マスコットきとぎとぎのめいくるみ」を5名の方にプレゼントします。

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。  
当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
宛先 〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課「県広報とやま10月号クイズ係」 締切 10月16日(金) (必着)



新型インフルエンザ情報

最新情報は、県のホームページにて http://www.pref.toyama.jp/

インフルエンザ相談窓口

- インフルエンザに関する相談全般に対応する窓口を設置しています。  
※受付時間…平日 午前9時～午後5時30分  
※土日祝日を含む夜間、右記の電話番号にかけていただくと、緊急連絡番号をお知らせしています。
- 県健康課でもインフルエンザに関する問合せを受け付けます。  
☎076-444-3225 ※受付時間…平日 午前9時～午後5時30分

- 新川厚生センター ☎0765-52-2647 [☎0765-52-4440]
- 新川厚生センター魚津支所 ☎0765-24-0359 [☎0765-24-9220]
- 中部厚生センター ☎076-472-1234 [☎076-473-0667]
- 高岡厚生センター ☎0766-26-8414 [☎0766-26-8464]
- 高岡厚生センター射水支所 ☎0766-56-2666 [☎0766-56-5494]
- 高岡厚生センター氷見支所 ☎0766-74-1780 [☎0766-74-0374]
- 砺波厚生センター ☎0763-22-3512 [☎0763-22-7235]
- 砺波厚生センター小矢部支所 ☎0766-67-1070 [☎0766-67-4270]
- 富山市保健所 ☎076-428-1155 (夜間・休日 ☎076-431-6111) [☎076-428-1150]

インフルエンザ対策のポイント

- ①うがい、手洗い、マスク着用の徹底
- ②インフルエンザの症状が出たら
  - 外出を自粛
  - 診療時間帯にかけつけ医に事前連絡のうえ、マスクを着用して受診
- ③重症化リスクの高い方(\*)は早期受診を!  
(\*)慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病、腎機能障害、免疫機能不全などの持病のある方や妊婦、幼児、高齢者

モバイル県庁

携帯電話からも県の  
情報を閲覧できます。  
(右のQRコードから)



「県広報とやま」は、4・6・8・10月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。  
平成21年10月4日発行 企画・発行/富山県知事政策局広報課 富山市新総曲輪1番7号 076-431-3131(県民相談電話)/076-444-3300(県民相談ファックス) 編集協力/㈱シー・イー・ピー

「県広報とやま」に関する  
ご連絡、ご質問は

〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課 まで TEL・076-444-3134 FAX・076-444-3478  
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください ▶ http://www.pref.toyama.jp/form.html  
広報課ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms\_sec/1001/

広告掲載の  
お問い合わせ

㈱シー・イー・ピー  
企画営業部 まで  
TEL・076-439-3311(代)